

平成30年北海道胆振東部地震への対応状況

9月7日15時時点

二次災害防止対策に向けた取り組み

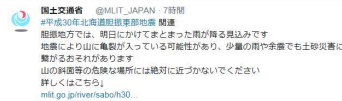
●土砂災害警戒情報の発表基準引き下げ
土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げた暫定的な運用を9月6日12時より開始。

- ・通常基準の7割(震度6弱以上):札幌市、^{さっぽろし}厚真町ほか1市4町
- ・通常基準の8割(震度5強):^{とまこまいし}苫小牧市、^{えべつし}江別市ほか2市3町

●北海道勇払郡厚真町で発生した土砂崩れに関して、北海道の要請により、二次災害防止のため、土砂災害専門家を含むTEC-FORCEを派遣し、厚真町には土砂災害に関する警戒避難について助言を行った。

●引き続き、被災市町村等との緊密な連携の下、災害応急対策に全力で取り組む。

国交省Twitterで注意喚起



雨が降ったら 地震のあとは
土砂災害に注意 ⚠️

地震によって地下の深いところまで地盤がゆるんでいます。これからの雨や雪どけ水によって、土砂災害(かけ崩れ・土石流・地すべり等)が引き起こされる危険があります。

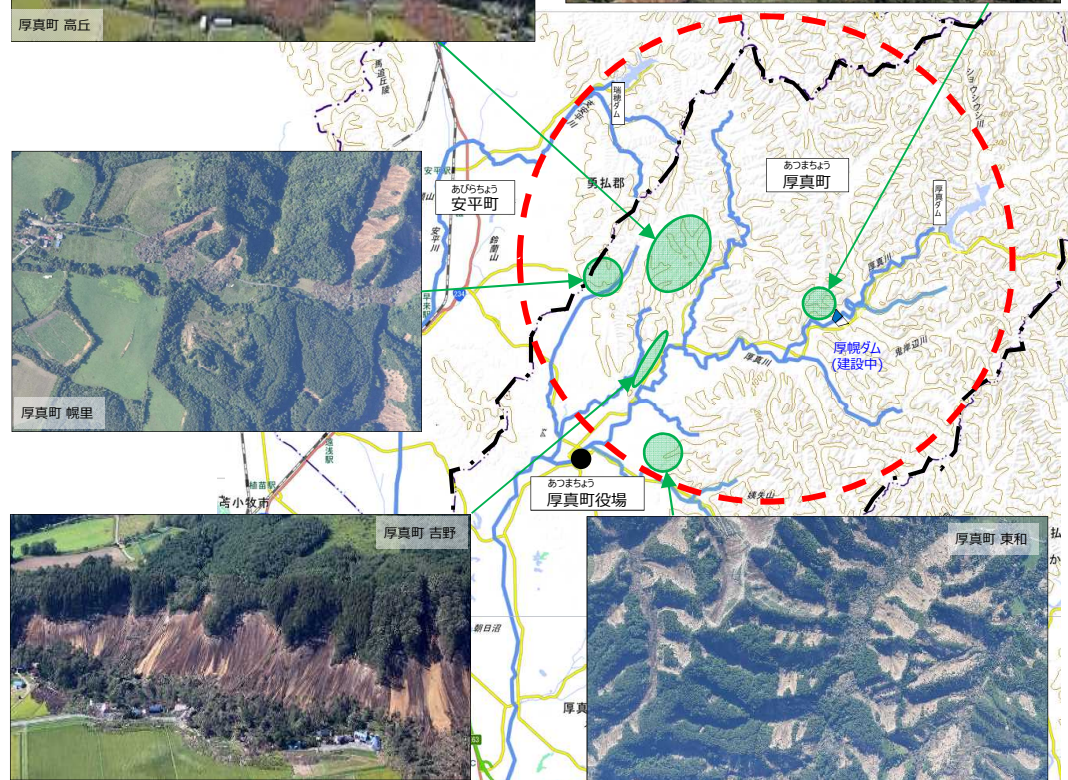
【土砂災害専門家コメント】

- 斜面崩壊は、厚真町役場付近から厚真ダム付近までの範囲で多発。
- 尾根付近を残して両側斜面で表層崩壊が発生。一部崩壊土砂が長距離移動しているもの、河道を閉塞している事例が見られる。
- 崩壊は、斜面表層の降下火砕堆積物が立木を伴って移動。
- 今後の余震・降雨で、(1)崩壊した斜面周辺の崩壊、(2)隣接斜面の崩壊の可能性がある。
- 当面は少ない雨量で早めの避難を呼びかけるなど安全側にたった対応が必要。余震・降雨後の崩壊発生状況を確認しながら避難基準を徐々に引き上げるなど段階的な対応が必要。



土砂災害の広域調査

多数の土砂崩れが発生しており、被害状況確認中



--- 多数の土砂崩れが分布する範囲
 --- 半径約8km (範囲は精査中)